

共家事（トモカジ）促進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	未来創造部	課名	女性活躍課	課長名	田中 智美	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R2 年度 経過年数 5 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8 年度
事業実施方法	直営、委託											
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [1 学びを伸ばす(人材力)] 政策 [3 多様な価値観を認め合う「共生社会」の実現]				関連する県の計画等		[第4次福井県男女共同参画計画/ふくい創生・人口減少対策戦略]					
[解決すべき問題・課題] 本県は、女性の共働き率(61.2%全国1位)が高く、働く女性が多い一方で、家事等の負担は、女性に偏っており、女性が管理職を目指す障壁にもなっている。						[問題・課題を表す客観的データ] 新型コロナウイルス感染症の影響により起こった変化(R2男女共同参画県民意識調査) ①家事、育児、介護などを行う時間が増加した 女性:30.3% 男性:16.1% ②家事分担に関する不満が高まった 女性:24.4% 男性:10.3%						
[事業目的] 女性の社会進出と男性の家庭進出を表裏一体のものと捉え、夫婦・家族で一緒に家事を楽しむ「共家事(トモカジ)」を家庭のライフスタイルとして定着させる。												
[事業内容] (1) 共家事促進店との協働キャンペーン ①「共家事の日(11/23)」関連イベント、県民参加型キャンペーンの開催 「共家事の日」に併せ、夫婦で家事について考えるワークショップ型の講座や共家事に取り組む著名人を招いた講演会を開催 ②共家事促進店との協働キャンペーン スーパー等共家事促進店やふくい女性活躍推進企業、各市町男女共同参画担当課と協働し、ポスター・ハンドブックを設置 ③共家事協賛イベントの奨励金 夫婦を対象とした家事に関わるイベントを開催する県内企業・団体に奨励金を支給 (支給額) 1企業・団体当たり10万円 (件数) 10件 (2) 県民に向けた全体の広報発信 ①「共家事の日」の前後にPR動画を放映 ②共家事ハンドブックを市町、共家事促進店(R4:183企業・団体)を通じて配布 ③家事代行サービスの利用促進に向けた広報発信(「家事の外部化」の促進)												
[受益者] 県民						[想定される受益者数] 75万人						
前事業の有無・実績	□ 無 ■ 有 事業名 働く女性の負担軽減促進事業 (実績) 「共家事」促進イベント実施企業 10社					関連事業の有無・役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況	「共家事」を促進するため、各市町男女共同参画担当課にポスター、ハンドブック設置、HP掲載など広報を依頼					他県の状況	富山県「家事・育児シェアリングプロジェクト」 兵庫県「とも家事」					

共家事（トモカジ）促進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内		部局名	未来創造部	課名	女性活躍課		課長名	田中 智美	
事業主体	県			事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業開始年度	R2 年度	事業終了予定年度（見直し年度）	R8 年度	
事業実施方法	直営、委託							経過年数	5 年					
補助率	—													
区分	事業費		国庫	起債	その他		一般財源		国庫、その他財源の名称等					
予算額	6,056		473				5,583		地域女性活躍推進交付金（内閣府）					
[予算額の推移等] (単位：千円)														
区分			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移			1,084	827	7,564	5,780	6,056	・共家事協賛イベントの奨励金制度の創設による増						
2月現計予算額の推移			979	827	7,352	5,780								
決算額の推移			362	756	7,099									
前年度までの主な増減理由		R4：イメージアップキャンペーンの実施 ・共家事ハンドブックの作成 ・男性向けの料理教室の実施 R5：PR動画作成費の減												
[成果指標等の推移]														
区分			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	「共家事促進店」登録店舗数 (目標)		(100)	(100)	(100)	(180)	(230)	(200)	(250)	共家事促進店の登録店舗数				
	実績		104	158	183	214								
活動指標	「共家事促進」キャンペーン応募者数 (目標)		(700)	(700)	(700)	(700)	(700)	(700)	(700)	チェックリストを活用したキャンペーンの応募者数				
	実績		295	310	165	375								
[事業の評価]														
前年度の実績・成果指標等の定量的評価					実績を踏まえた令和6年度の変更点					事業評価				
「共家事促進店」登録店舗数は目標を上回ったものの、キャンペーン応募者数の目標を達成できなかったため、キャンペーンの周知強化を行う。					共家事の日（11/23）を中心に、共家事協賛店と連携したキャンペーンを実施するとともに、関連イベントと講演会を同時開催し、多くの県民に参加できるよう開催新たに夫婦を対象とした家事に関わるイベントを開催する県内企業・団体に奨励金を支給し、官民連携して共家事を推進					<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
										<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
										<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

企業の女性活躍推進事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	一部外	部局名	未来創造部	課名	女性活躍課	課長名	田中 智美		
事業主体	県				事務区分 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務			事業区分 <input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度	R2 年度 経過年数 5 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8 年度	
事業実施方法	直営、委託												
補助率	—												
福井県長期ビジョンにおける位置付け	分野 [1 学びを伸ばす(人材力)] 政策 [3 多様な価値観を認め合う「共生社会」の実現]					関連する県の計画等		[第4次福井県男女共同参画計画/ふくい創生・人口減少対策戦略]					
[解決すべき問題・課題] 本県は女性管理職の割合が全国に比べ低い状況であり、働く場で女性が活躍するためには、物事を決定し責任ある立場で職責を担う「管理職」を増やすことが重要						[問題・課題を表す客観的データ] 女性管理職割合 13.45% 全国41位(全国平均15.63%) (令和2年度国勢調査)							
[事業目的] 女性の採用・育成・登用など、女性活躍に積極的に取り組む企業「ふくい女性活躍推進企業」の女性の活躍推進に向けて積極的に取り組む企業を後押しし、県内企業における女性活躍の推進を図る。													
[事業内容] (1) 女性登用に取り組む企業へのインセンティブ強化 企業顕彰や奨励金、人材確保支援により、女性登用に取り組む動機づけを強化 (2) 女性登用に取り組む企業の伴走支援の強化 ロードマップによるメリットの提示やコンサルタント等の派遣により、伴走支援を強化 (3) 企業・団体への女性登用の働きかけおよび企業の女性活躍にかかる優良な取組みの発信 企業・団体のトップに対する女性登用の働きかけ 働く女性の職場づくりなど特に優れた活動を実施する企業および従業員の表彰・発信													
[受益者] 就業している女性						[想定される受益者数] 18万人							
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)						
市町との連携状況	「ふくい女性活躍推進企業」への登録促進					他県の状況	○全国順位等(※R2国勢調査より) ・女性の就業率 55.6% (全国 2位) ・共働き率 61.2% (全国 1位) ・女性の管理職比率 13.5% (全国41位)						

企業の女性活躍推進事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	一部外	部局名	未来創造部	課名	女性活躍課	課長名	田中 智美	
事業主体	県				事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度 R2 年度 経過年数 5 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R8 年度	
事業実施方法	直営、委託											
補助率	—											
区分	事業費	国庫	起債	その他		一般財源	国庫、その他財源の名称等					
予算額	29,669	11,076				18,593	地域女性活躍推進交付金（内閣府）					
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区分	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移	7,149	6,894	2,390	16,048	29,669	・顕彰制度および奨励金制度の創設による増 ・企業への伴走支援強化による増						
2月現計予算額の推移	953	6,894	2,390	16,048								
決算額の推移	943	6,839	2,371									
前年度までの主な増減理由	R2：女性活躍プロジェクトチーム支援事業補助金の廃止 「ふくい女性活躍推進企業優良活動表彰」制度の新設 R3：県内企業における女性の管理職登用加速に関する事業を実施 R4：女性活躍推進コンサルタント事業の終了 R5：「女性管理職登用加速事業」の統合、ふくい女性活躍推進フォーラムの開催											
[成果指標等の推移]												
区分	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	県内企業の女性管理職の割合（福井県勤労者就業環境基礎調査） (目標) 実績	17.0%	20.0%	18.6%		(20.0%)	(20.0%)	令和8年度末：20% (福井県長期ビジョン、第4次福井県男女共同参画計画) ※年度ごとの成果指標の目標は設定していない ※実績は翌年度6月頃公表予定				
活動指標	ふくい女性活躍推進企業登録数 (目標) 実績	(280) 288	(300) 308	(330) 339	(360) 367	(400)	(450)	令和8年度末：450社（第4次福井県男女共同参画計画） (令和5年度実績はR6.1月末時点)				
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価				
<ul style="list-style-type: none"> 「ふくい女性活躍推進企業」新規登録28社（計367社） 「ふくい女性チャレンジ賞表彰」4件（個人3名・グループ1団体） 「ふくい女性活躍推進企業優良活動表彰」企業部門：4企業受賞 個人・グループ部門：15件受賞 女性活躍に関する企業経営者向け講演会、勉強会開催 				引き続き、「ふくい女性活躍推進企業」制度を運用し、女性活躍を推進する企業を増加させていくとともに、女性管理職登用を進める企業へのインセンティブや伴走支援を強化することにより、経営者の意識改革を促していく。				<input checked="" type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

女性のためのキャリアアップ研修事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	一部外	部局名	未来創造部	課名	女性活躍課	課長名	田中 智美					
事業主体	県				事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度 R2 年度 経過年数 5 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度) R8 年度	R8 年度					
事業実施方法	直営、委託															
補助率	—															
福井県長期ビジョンにおける位置付け	分野 [1 学びを伸ばす(人材力)] 政策 [3 多様な価値観を認め合う「共生社会」の実現]					関連する県の計画等		[第4次福井県男女共同参画計画／ふくい創生・人口減少対策戦略]								
[解決すべき問題・課題] 本県は女性管理職の割合が全国に比べ低い状況であり、本県の女性は、家事、育児の負担が男性に比べて大きいと、昇進が躊躇われると考えている人が多い						[問題・課題を表す客観的データ] 女性管理職割合 13.45% 全国41位(全国平均15.63%) (令和2年度国勢調査) 役職へ就くことへの不安を感じる40.7% <small>(R元年福井県女性の人生選択と自己実現に関する調査 お茶の水女子大学と福井県の共同研究)</small>										
[事業目的] お茶の水女子大学と共同作成・実施する本県女性のためのリーダー育成研修プログラム「ハッピーキャリア縁カレッジ」を実施し、女性リーダーおよび管理職のしやすい社会づくりを推進する。																
[事業内容] (1) 管理職育成コースの実施(約10か月間継続受講、約20名受講) [対象] 県内企業・団体勤務する女性管理職(課長以上) 候補女性 [内容] ① ロールモデル等交流実践講座 ② お茶の水女子大学連携講座 ③ Rintoss講座 ④ リフレクション(内省)研修 ⑤ スポンサーシップ実践講座 ⑥ リーダーシップ実践講座 ⑦ お茶の水女子大学公開講座聴講、交流会 ⑧ お茶の水女子大学ビジネススクール「微音塾」受講 ⑨ アラカルト講座(女性財団が運営する講座を選択して受講) (2) リーダー育成コースの実施(約10か月間継続受講、約40名受講) [対象] 県内企業・団体勤務する女性リーダー(係長等) 候補女性 [内容] 管理職育成コース①②④⑤⑦および⑧「ものづくりスキルアップ講座」を受講 (3) 女性活躍スタートコース(1講座単位で受講、約300名受講) [対象] 県内企業・団体に勤務する方 300名程度(男性も受講可能) [内容] 管理職育成コース②およびリーダー育成コース⑧の講座および女性財団が運営する講座を受講																
[受益者] 就業している女性						[想定される受益者数] 18万人										
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 働く女性の活躍支援事業 (実績) 平成24年度から事業を開始し、142の企業・団体から263名の女性が参加。受講生の中から83人が管理職やリーダーに登用					関連事業の有無・役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)								
市町との連携状況	「ハッピーキャリア縁カレッジ」への参加促進					他県の状況		・富山県 (煌めく女性リーダー塾) ・石川県 (女性人材育成プログラム) ・愛知県 (女性エンパワーメント支援事業) ・福岡県 (ウイメンズ・ビジネス・キャンプ) 他								

女性のためのキャリアアップ研修事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	一部外	部局名	未来創造部	課名	女性活躍課	課長名	田中 智美					
事業主体	県				事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度 R2 年度 経過年数 5 年	事業終了 予定年度 (見直し年度) R8 年度	R8 年度					
事業実施方法	直営、委託															
補助率	—															
区分	事業費	国庫	起債	その他		一般財源	国庫、その他財源の名称等									
予算額	7,760					7,760										
[予算額の推移等] (単位：千円)																
区分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由									
当初予算額の推移		3,428	3,426	4,991	7,275	7,760	研修0G、第一線で活躍する女性役員や企業経営者との交流や、実践的なビジネススキルを学ぶRintoss講座などのプログラム拡充による増									
2月現計予算額の推移		2,537	3,082	4,991	7,275											
決算額の推移		2,310	3,035	4,966												
前年度までの主な増減理由		R4：管理職育成コースの追加およびそれに伴う講座の拡充 1講座単位で受講可能な推進コースの追加 R5：お茶の水女子大学との連携講座の拡充 ロールモデル交流実践講座の拡充														
[成果指標等の推移]																
区分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠							
成果指標	参加者の満足度	(目標) (80%)	(80%)	(80%)	(80%)	(80%)	(80%)	(80%)	受講者アンケートでの参加者の満足度 (大変満足、満足と回答した受講生の割合、3月にアンケート実施)							
		実績 96.4%	95.7%	95.2%												
活動指標	受講者数	(目標)		(300)	(300)	(300)	(300)	(300)	管理職育成コース、リーダー育成コース、女性活躍スタートコースの受講者合計 4年度から研修の方式を変更したため、活動指標を変更							
		実績		301	313											
[事業の評価]																
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価								
活動指標は目標達成 管理職育成コース 20名 リーダー育成コース 41名 スタートコース 252名 受講者のうちリーダー・管理職になった人数 (H24～R4) 管理職以上：29人 リーダー：43人				より実践的なビジネススキルを学ぶRintoss講座や、リフレクション研修、ロールモデル等交流実践講座を充実				<input checked="" type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額					
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了						
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他						

女性のチャレンジ応援事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	未来創造部	課名	女性活躍課	課長名	田中 智美	
事業主体	県				事務区分 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務			事業区分 <input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度	R6 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8 年度
事業実施方法	直営、委託			事業経過年数		1 年						
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [1 学びを伸ばす(人材力)] 政策 [3 多様な価値観を認め合う「共生社会」の実現]				関連する県の計画等	[第4次福井県男女共同参画計画／ふくい創生・人口減少対策戦略]						
[解決すべき問題・課題] 女性のライフイベントを契機とした非正規雇用化・L字カーブ対策など。						[問題・課題を表す客観的データ] 産業支援センターでの起業相談数 (R4 8.7% (69件中、女性相談6件))						
[事業目的] 女性は出産・育児等のライフイベントを機にやむを得ず離職するまたは正規から非正規へと働き方を変えるケースがあるが、それらもチャレンジの機会と捉え、女性の自己実現やレベルアップが図れるよう、多様な選択肢が用意されている環境をつくる。												
[事業内容] (1) 専門家による総合的な相談対応 ふくい女性活躍支援センターに専門家を配置し、ふくい産業支援センターや商工会議所・商工会と連携して具体的なアドバイスを実施 ふくいウイメンズ・オアシスにおいて創業・起業をテーマにピアサポートサロンを開催し、女性同士のコミュニティづくりをサポート (2) 女性起業家」育成インターンシップ 女性の創業・起業風土を醸成するため、創業・企業に興味がある女性を「インターンシップ生」と位置づけ、先輩起業家等による講座やディスカッション等を開催 (3) 女性のリスクリングの機会の拡充 女性のリスクリングの機会を拡充するため、日本リスクリングコンソーシアムの後援団体として参画し、無料でも受講できるオンラインプログラムを中心に広報 (4) 「ふくい女性のチャレンジ賞」のすそ野の拡大 表彰人数を拡大し、従来光が当たりづらかった業界で活躍する女性にもすそ野を拡大 (5) ネット記事を活用した県内の多様な女性ロールモデルの発信 「ふくい女性のチャレンジ賞」の受賞者やインターンシップ生等をWebメディアで発信												
[受益者] 県民						[想定される受益者数] 75万人						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況	男女共同参画市町課長会議・担当者会議を通じた呼びかけ					他県の状況						

女性のチャレンジ応援事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	未来創造部	課名	女性活躍課	課長名	田中 智美	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R6 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8 年度
事業実施方法	直営、委託					□ 法定受託事務						
補助率	—											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	3,664	1,469			2,195	地域女性活躍推進交付金（内閣府）						
[予算額の推移等]												(単位：千円)
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移						3,664						
2月現計予算額の推移												
決算額の推移												
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	総合相談窓口を通じた創 業・起業数 (目標) 実績					(5)						
活動指標	総合相談窓口における相 談件数 (目標) 実績					(36)			3回/月×12月=36回相談会を実施			
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価					実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価			
-					-				<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額		
									<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了			
									<input type="checkbox"/> 整理統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> その他			

“女性活躍”から社会を変えるプロジェクト

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	未来創造部	課名	女性活躍課	課長名	田中 智美
事業主体	県				事務区分 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度	R6 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8 年度
事業実施方法	直営、委託			経過年数							
補助率	—			1 年							
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [1 学びを伸ばす(人材力)] 政策 [3 多様な価値観を認め合う「共生社会」の実現]					関連する県の計画等		[第4次福井県男女共同参画計画/ふくい創生・人口減少対策戦略]			
[解決すべき問題・課題] 本県は女性管理職の割合が全国に比べ低い状況であり、働く場で女性が活躍するためには、物事を決定し責任ある立場で職責を担う「管理職」を増やすことが重要						[問題・課題を表す客観的データ] 女性管理職割合 13.45% 全国41位(全国平均15.63%) (令和2年度国勢調査)					
[事業目的] 社会全体に固定的な「性別役割分担意識」や無意識の思い込み「アンコンシャス・バイアス」に気づき、解消していくことにより、女性をはじめ県民一人ひとりが平等に生き生きと活躍できる社会づくりを推進する。また、他の「しあわせ」に触れる機会の提供やロールモデルの発信等により、女性の「つながり」づくりをサポートする。											
[事業内容] (1) 「かがやき★Hokuriku 女性活躍サミットin福井」の開催 <全県民を対象> 北陸三県の女性副知事によるパネルディスカッションや女性参加者による交流会を開催し、後日その概要をメディアにより広く発信 (2) 「アンコンシャス・バイアス川柳」コンクールの実施 <全県民を対象> ・包括協定を結ぶ第一生命と連携し、「アンコンシャス・バイアス」をテーマとした地元サラ川コンクールを開催 ・募集時のチラシ配布、優秀作品の表彰、優秀作品を元にしたアート展開催とSNS発信、ポスター掲出によりを普及啓発 (3) 階層別「アンコンシャス・バイアス」研修の実施 <働く人を対象> 女性活躍推進企業を対象に、職場で「アンコン」対策に取り組む必要性を啓発し、階層ごとに「アンコン研修」を実施 (実施方法) オンライン研修 [2コース (①社員向け ②管理職・経営者向け)] (4) 「女性活躍」や「アンコンシャス・バイアス」等をテーマとした県民参加型ワークショップの開催 ワークショップにより女性の意見を吸い上げ、各回の概要を新聞で広報することで、女性活躍について社会の変容を促進											
[受益者] 県民						[想定される受益者数] 75万人					
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)				
市町との連携状況						他県の状況	<input type="checkbox"/> 全国順位等 (※R2国勢調査より) ・女性の就業率 55.6% (全国2位) ・共働き率 61.2% (全国1位) ・女性の管理職比率 13.5% (全国41位)				

“女性活躍”から社会を変えるプロジェクト

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	未来創造部	課名	女性活躍課	課長名	田中 智美	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R6 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8 年度
事業実施方法	直営、委託					□ 法定受託事務						
補助率	—											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	10,583	1,677			8,906	地域女性活躍推進交付金（内閣府）						
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移						10,583						
2月現計予算額の推移												
決算額の推移												
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	性別役割分担に賛成する割合（※長期ビジョンアンケート）				25.6%	(20.0%)	(20.0%)	(10.0%)	※福井県長期ビジョンに関するアンケート「あなたは、「男は仕事、女は家庭」という考え方について、どのように思われますか。」令和8年度末：10%（第4次福井県男女共同参画計画）			
活動指標	ワークショップ参加者					(90)	(90)	(90)	15名×6回開催			
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価				
-				-				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

ふくい女性活躍支援センター運営事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	未来創造部	課名	女性活躍課	課長名	田中 智美
事業主体	県				事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度 R2 年度 経過年数 5 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度) R8 年度	
事業実施方法	直営、委託										
補助率	—										
福井県長期ビジョンにおける位置付け	分野 [1 学びを伸ばす(人材力)] 政策 [3 多様な価値観を認め合う「共生社会」の実現]					関連する県の計画等		[第4次福井県男女共同参画計画/ふくい創生・人口減少対策戦略]			
[解決すべき問題・課題] 本県の女性は、家事・育児の負担が男性に比べて大きい、リーダーになることが難しいと考えている人が多い (R2県民意識調査)						[問題・課題を表す客観的データ] 新型コロナウイルス感染症の影響により起こった変化 (R2男女共同参画県民意識調査) ①家事、育児、介護などを行う時間が増加した 女性：30.3% 男性：16.1% ②家事分担に関する不満が高まった 女性：24.4% 男性：—					
[事業目的] 働く女性の悩みを一つの窓口で解決できるよう、ふくい女性活躍支援センターを設置し、再就職・育休復帰支援機能を中心に強化し、女性リーダーの出やすい社会づくりを推進する。											
[事業内容] (1) キャリア相談員の配置 女性キャリア相談員を配置し、仕事の適正やキャリアアップ、資格や技能の習得、起業・再就職等の相談に対応 (2) マッチングアドバイザーの配置 ・求職者への情報提供、マッチングを実施 ・就職を希望する女性に対して再就職支援セミナーや企業面談会を実施 (3) 就職支援指導員の配置 就職紹介事業所との連携、求人開拓に向けた企業の情報収集や、求職者への情報提供 (4) 保育コンサルジュを設置 子育て相談、保育所等の紹介、市町子育て支援担当課との連携、子育て支援センター等への出張相談 (5) 専門機関の出張相談窓口の開設 (福祉介護の仕事相談等、月2回)											
[受益者]						[想定される受益者数]					
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 ふくい女性つながりサポート事業 (役割分担) サロンで具体化された相談・悩みや生理用品の配布を通じて相談があったものについては、「ふくい女性活躍支援センター」における女性の就労相談、キャリア相談等につなげる。				
市町との連携状況						他県の状況					

ふくい女性活躍支援センター運営事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	未来創造部	課名	女性活躍課	課長名	田中 智美	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 5 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8 年度
事業実施方法	直営、委託					□ 法定受託事務						
補助率	—											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	14,487				14,487							
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		13,027	13,254	13,222	13,421	14,487	委託先職員の人件費見直しによる増					
2月現計予算額の推移		13,027	13,254	13,222	13,421							
決算額の推移		12,924	13,126	13,154								
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	女性活躍支援センターの 支援による就職者数	(110) 実績 79	(110) 71	(110) 71	(110) 80	(110)	(110)	(110)	センター支援による就職者数 (令和5年度実績は1月末時点)			
活動指標	女性活躍センターへの相 談者数	(1,200) 実績 817	(1,200) 1,007	(1,200) 1,123	(1,200) 850	(1,200)	(1,200)	(1,200)	センターへの相談数 (令和5年度実績は1月末時点)			
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価				
支援センターの支援による就職者数は前年より増加しているが、目標達成は困難な見込。対面や電話相談のほかオンライン相談も併用し、利用者の利便性向上に努めた。 ・就職件数 80件 ・職業相談件数 850件				令和5年度は、再就職、転職についての相談が多かったため、再就職、育休復帰支援機能を中心に強化（総合相談窓口を設置）し、自分のやりたいことにチャレンジできる社会づくり推進を実施				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

ふくい女性つながりサポート事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	未来創造部	課名	女性活躍課	課長名	田中 智美	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算	事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 5 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8 年度
事業実施方法	直営、委託			□ 補助金				□ その他				
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [1 学びを伸ばす(人材力)] 政策 [3 多様な価値観を認め合う「共生社会」の実現]					関連する県の計画等		[第4次福井県男女共同参画計画/ふくい創生・人口減少対策戦略]				
[解決すべき問題・課題] 新型コロナウイルス感染症の影響により、全国的に孤立・孤独を抱える女性が増加し、自殺者DV相談件数も増加している。						[問題・課題を表す客観的データ] 新型コロナウイルス感染症の影響により起こった変化 (R2男女共同参画県民意識調査) ①家事、育児、介護などを行う時間が増加した 女性：30.3% 男性：16.1% ②家事分担に関する不満が高まった 女性：24.4% 男性：—						
[事業目的] 仕事や子育て、心や身体など、女性が抱える様々な不安や悩みに寄り添い、支援を必要としている方に対して、きめ細やかな支援を実施												
[事業内容] (1) 女性の悩みや不安を知る講座の開催 108千円 令和3年度開始のピアサポートサロンで見えてきた長引くコロナ禍での女性の不安や悩みについて、一般の方や県内企業の方に現状を紹介し、当事者に対する理解や当事者を取り巻く社会環境の改善を促すことを目的とした専門家による講座を開催 (2) 「わたしの時間」の開催 「ふくいウイメンズ・オアシス」を開放し、悩みや不安を抱える女性が自由に過ごして、つながりを見つけほっとできる時間と場所を提供 必要に応じ専門の相談窓口につなげて様々な悩みへの支援を強化 (3) ピアサポートサロンの開催 7,581千円 生活学習館2階に設置する「ふくいウイメンズ・オアシス」において、テーマを設定したピアサポートサロンを開催 (4) 女性活躍支援センター出張相談の実施 1,013千円 遠方により出向くことができない相談者に対して支援ができるよう、サテライト相談窓口を設置 (5) 生理用品の提供 154千円 新型コロナウイルス感染症の影響により、経済的に困窮している方に対して、生理用品の提供を実施(併せて県内の相談窓口を周知)												
[受益者]						[想定される受益者数]						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・ 役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況						

ふくい女性つながりサポート事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	未来創造部	課名	女性活躍課	課長名	田中 智美	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算	事業開始年度	R2 年度	事業終了予定年度(見直し年度)	R8 年度
事業実施方法	直営、委託							□ 補助金		経過年数		
補助率	—							□ その他		5 年		
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	8,856	6,642			2,214	地域女性活躍推進交付金(内閣府)						
[予算額の推移等] (単位:千円)												
区分	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移		10,360	9,700	8,583	8,856	委託先職員の人件費見直しによる増						
2月現計予算額の推移		10,360	9,700	8,583								
決算額の推移		9,926	9,122									
前年度までの主な増減理由	R4: 国補正予算を活用し、R3.2月補正予算において前倒し(9,700千円) 明許繰越 R5: ピアサポートサロンの回数見直し											
[成果指標等の推移]												
区分	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	ピアサポートサロンに参加して前向きになったと回答した割合 (目標)	(50.0%)	(50.0%)	(50.0%)	(50.0%)	—	—	参加者アンケート結果				
	実績	57.4%	59.3%	62.0%								
活動指標	ピアサポートサロンの開催回数 (目標)	(30)	(80)	(96)	(120)	—	—	ピアサポートサロンの開催数(令和5年度実績は1月末時点)				
	実績	34	116	93								
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価				
ピアサポートサロンの目標参加者数、開催回数は目標どおり達成する見込み。多く悩みや不安を抱える女性に居場所を提供することで、悩みを共有し支援につなげることができた。				創業・起業を含めた再就職をテーマとしたサロンを新たに実施。ピアサポーター登録数を増やし、様々な悩みに寄り添ったサロンを開催する。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		